

比較文明文化研究センター 平成二十七年活動報告

- 四月一五日(水) 第一回 比較文明文化研究センター運営委員会
四月二二日(水) 第二二回 伊東俊太郎著作集を読む会
五月二〇日(水) 第二三回 伊東俊太郎著作集を読む会
六月二五日(木) 第一回 比文研セミナー
篠田謙一(独立行政法人国立科学博物館 人類研究部長)
六月一六日(火) 第二四回 伊東俊太郎著作集を読む会
六月 『比較文明研究』第二十号の発行
七月一六日(木) 第二回 比文研セミナー
木曾功(内閣官房参与、比較文明文化研究センター客員教授)
九月二四日(木) 第一回 伊東俊太郎先生を囲む連続談話会「宇宙と文明の歴史―われわれの由来」
一〇月二二日(木) 第三回 比文研セミナー
欠端實(麗澤大学名誉教授、比較文明文化研究センター客員教授)
一〇月二六日(月) 第二回 比較文明文化研究センター運営委員会
十一月九日(月) 第三回 比較文明文化研究センター運営委員会
一一月二五日(水) 第二回 伊東俊太郎先生を囲む連続談話会「宇宙と文明の歴史―われわれの由来」
一一月二六日(木) 第四回 比文研セミナー
汪義翔(比較文明文化研究センター客員研究員)
一二月一七日(木) 第三回 伊東俊太郎先生を囲む連続談話会「宇宙と文明の歴史―われわれの由来」
一月二七日(水) 第四回 比較文明文化研究センター運営委員会
一月二八日(木) 第五回 比文研セミナー
大澤真幸(社会学者、比較文明文化研究センター客員教授)
二月一八日(木) 第四回 伊東俊太郎先生を囲む連続談話会「宇宙と文明の歴史―われわれの由来」

麗澤大学比較文明文化研究センター

『比較文明研究』既刊目録

〈第一号—第二〇号〉

第一号（一九九六年三月）

発刊の辞……………伊東俊太郎

〈講演〉

新しい文明に向かって……………伊東俊太郎

アフリカ大陸と文明……………米山 俊直

〈論文〉

比較文明の方法……………神川 正彦

その系譜学的省察

高等宗教の比較的考察……………川窪 啓資

アーノルド・J・トインビーと廣池千九郎の

求めたもの

自然と人為（I）……………小田川方子

西洋古代思想に見る

聖樹と稲魂……………欠端 實

ハニ文化と古代日本文化の比較

廣池千九郎博士がとらえた「自然の法則」……………立木 教夫

「自然」と「道徳」はいかにかわっているか

近代アジアにおける西欧近代文明の衝撃と知識人の対応…竹内 啓二

インドと日本の比較

インドにおける文明の衝突とその克服（I）……………保坂 俊司

ナーナクのヒンドゥー・イスラーム融合思想と

その今日的意味

〈書評〉

服部英二著『文明の交差点で考える』……………真野 義人

古沢広祐著『地球文明ビジョン』……………永安 幸正

伊東俊太郎・安田喜憲編『文明と環境』……………立木 教夫

蓮實重彦・山内昌之編『文明の衝突か、共存か』……………保坂 俊司

研究動向……………伊東俊太郎

比較文明研究センター平成七年度活動報告……………伊東俊太郎

編集後記……………川窪 啓資

編集委員および所員紹介……………川窪 啓資

英字要旨……………川窪 啓資

第二号（一九九七年三月）

〈講演〉

比較文明学の枠組……………伊東俊太郎

国際比較文明学会会長講演

〈論文〉

「比較文明的遠近法」にうつしだされる「日本の言説」……………神川 正彦

二つの開国を中心に

「じだわりの文化」と「ごごんじだわりの文化」	安田 喜憲	Civilizations and Morals:	
南海の大乗仏教の道	服部 英二	Legitimacy, the Line of Succession, and	
ボロブドゥールとアンコール文明をめぐって		Polity	Keisuke Kawakubo
地中海の十字軍シチリア	真野 義人	English Summaries	
比較文明論からみたインド宗教興亡史序説	保坂 俊司		
その方法論の検討			
〈書評〉			
Joseph B. Ford, Michel P. Richard, and Palmer C. Talbut, eds., <i>Sorokin & Civilization: A Centennial Assessment</i>	細川 幹夫	第三号 (一九九八年三月)	
F・ブローデル著『文明の方法Ⅰ』	保坂 俊司	〈論文〉	
安田喜憲著『蛇と十字架——東西の風土と宗教』	小田川方子	「周辺文明」の変動論的考察——序説	神川 正彦
梅原猛編『講座 文明と環境 第15巻 新たな文明の 創造』	立木 教夫	日本研究と比較文明学	吉澤 五郎
伊東俊太郎編『日本人の自然観——縄文から現代科学 まで』	松本 健一	内奥志向から外縁志向へ	染谷 臣道
研究動向		現代ジャワ文明における構造的変化	我妻 和男
学会動向	伊東俊太郎	近代日印文化交流	
比較文明研究センター平成八年度活動報告	川窪 啓資	岡倉天心とタゴール家を中心として	小田川方子
編集後記	川窪 啓資	自然と人為(Ⅱ)	
編集委員および所員紹介		初期キリスト教に見る	
Comparing Pacific Rim Civilizations	Roger W. Wescott	ガンダーラにおける文明交流	保坂 俊司
Contrastive Literature	Michael Palencia-Roth	異質なるものの融合と統一の思想について	
		〈書評〉	
		小田川方子・欠端實編著『生と死の深み——アジアと ヨーロッパにおける再発見』	水野治太郎
		小林多加士著『海のアジア史——諸文明の世界Ⅱ経済』	服部 英二
		伊東俊太郎編『比較文明学を学ぶ人のために』	立木 教夫
		F・ブローデル著・松本雅弘訳『文明の方法Ⅱ』	保坂 俊司

研究動向	伊東俊太郎
学会動向	川窪 啓資
比較文明研究センター平成九年度活動報告	
編集後記	川窪 啓資
編集委員および所員紹介	
<hr/>	
〈Lecture〉	
What Is Civilization?—A New Approach	Shuntaro Ito
〈Articles〉	
Contribution of Gandhara to World	
Civilization	Ahmad Hasan Dani
Buddhism in Gandhara—Some	
Thoughts	Muhammad Ishtiaq Khan
Testing Toynbee's Concepts of General War	Mathew Melko
Civilization and Religion in Toynbee	Keisuke Kawakubo
Women in Civilization: After Equality—What?	
In the Case of Women in Modern Japan	Keisuke Kawakubo
Modern Mathematics and Civilizational	
Worldviews	David Richardson
〈Report〉	
PAK-JAPAN Colloquium on "Significance of	
Gandhara in Human History"	Eiji Hattori
English Summaries	
Editors and Members of the Center	
第四号 (一九九九年三月)	
〈ISSCSCとJSSCSCの対話〉	
日本の比較文明学	吉澤 五郎
知の連鎖と独創性	
比較文明学の理論的課題	神川 正彦
〈論文〉	
東亜稲作半月弧と西亜麦作半月弧	安田 喜憲
文明一元史観から多元史観へ	
自然と人為 (Ⅲ)	小田川方子
積尊の思想とその背景	
新興・環太平洋文明の構造	宮原 一武
環太平洋圏	永安 幸正
その多次元のネットワークについて	
〈書誌〉	
Samuel P. Huntington, <i>The Clash of Civilizations</i>	
and <i>the Remaking of World Order</i>	川窪 啓資
Palmer Talbut, <i>Rough Dialectics: Sorokin's</i>	
<i>Philosophy of Values</i>	細川 幹夫
米山俊直・吉澤五郎共編著『比較文明の社会学—	
新しい知の枠組』	立木 教夫
宮原一武著『文明の構造と諸問題』	保坂 俊司
川勝平太著『文明の海洋史観』	服部 英二
平野啓一郎著『日蝕』	服部 英二
学会動向	川窪 啓資

比較文明研究センター平成一〇年度活動報告
編集後記……………川窪 啓資
編集委員および所員紹介

〈Lecture〉

On Cross-Civilizational Spheres …………… Shuntaro Ito

〈Dialogue between ISCS and JSCSC〉

The Comparative Study of Civilizations in Japan:

Intellectual Links and Creativity (Summary) …… Goro Yoshizawa

The History of Comparative Civilization in

America …………… Roger W. Wescott

Comparative Civilizational Analysis, As Seen

from the West …………… Michael Palencia-Roth

Japanese Civilizationists' Theoretical

Problems (Summary) …………… Masahiko Kamikawa

〈Articles〉

Structural Sequences in the Far Eastern

World System/Civilization …………… David Wilkinson

The Introduction of Christianity to Japan and

Ensuing Cultural Interactions in the Art of Living………… Eiji Hattori

Integralism, Moralogy, and the New Social

Science …………… Vincent Jeffries

Introducing Moralogy: Bridging the East and

the West …………… Keisuke Kawakubo

Die Naturanschauung bei Nicolaus Cusanus

und Paracelsus …………… Masako Odagawa

English Summaries

Editors and Members of the Center

第五号 (二〇〇〇年三月)

〈論文〉

「周辺文明」の変動的考察——日本文明の場合…………… 神川 正彦

〈脱周辺化〉の二つの歴史的段階を中心に

渤海使のもたらしたもの…………… 小林 道憲

日本海文明交流圏と古代日本

文明と人口…………… 鬼頭 宏

低出生力社会の文明的考察

收穫儀礼と穀霊…………… 欠端 實

パミールとスワットを結んだパキスタン北部地方(一) …… 土谷 遙子

ギルギット川流域の文化交流に果たした歴史的・

美術史的役割

〈書評〉…………… 吉澤 五郎

神川正彦・川窪啓資編『比較文明学の理論と方法』…………… 吉澤 五郎

吉澤五郎著『世界史の回廊——比較文明の視点』…………… 神川 正彦

中野毅編『比較文化とは何か——研究方法と課題』…………… 保坂 俊司

保坂・頼住・新免著『比較宗教への途② 人間の社会

と宗教』…………… 鈴木 康之

伊東俊太郎著 『へ一語の辞典』 自然……………立木 教夫
 服部英二監修 『科学と文化の対話——知の収斂』……………北沢 方邦
 石上美智子著 『良寛と聖フランチェスコ』……………服部 英二
 『決定版中村元選集』……………保坂 俊司
 学会動向……………川窪 啓資
 比較文明研究センター平成二一年度活動報告……………川窪 啓資
 編集後記……………川窪 啓資
 編集委員および所員紹介……………川窪 啓資

〈Lecture〉

Cultural Bases of Science:
 Towards the Comparative History of Science……………Shuntaro Ito

〈Articles〉

The Vistas of the Comparative Study
 of Civilizations……………Keisuke Kawakubo
 The Route of Mahāyāna Buddhism
 through the Southern Sea……………Eiji Hattori
 Around the World in Eighty Years……………Andre Gunder Frank
 Culturology and Cosmology……………Palmer C. Talbutt
 English Summaries
 Editors and Members of the Center

第六号 (二〇〇一年三月)

〈論文〉

「世界の科学史」序説……………伊東俊太郎
 「周辺文明」の変動論的考察——沖縄文明の場合……………神川 正彦
 「近世琉球」と「琉球処分」という二つの歴史的段階
 を中心に……………小田川方子
 自然と人為 (IV)……………小田川方子
 エリウゲナの思想に見る
 パミールとスワットを結んだパキスタン北部地方(二)……………土谷 遙子
 ギルギット川流域の文化交流に果たした歴史的・
 美術史的役割

〈書評〉

伊東俊太郎編 『日本の科学と文明——縄文から現代
 まへ』……………立木 教夫
 川窪啓資著 『トインビーから比較文明へ』……………永安 幸正
 神川正彦著 『価値の構図と言葉』……………保坂 俊司
 米山俊直・吉澤五郎編 『比較文明における歴史と地域』……………犬飼 孝夫
 安田喜憲著 『大河文明の誕生』……………服部 英二
 中村雄二郎著 『悪の哲学ノート』……………服部 英二
 鬼頭宏著 『人口から読む日本の歴史』……………河野 稠果
 保坂俊司著 『イスラムとの対話』……………林 明
 F・G・フランク著／山下範久訳
 『リオリエント——アジア時代のグローバル・
 エコノミー』……………川窪 啓資

Roger Williams Wescott, *Comparing Civilizations: An Unconsensual View* (付) ウェスコット博士
追悼の記……………川窪 啓資

学会動向

比較文明研究センター平成一三年度活動報告

編集後記……………川窪 啓資

編集委員および所員紹介

〈Articles〉

Peace in World History ……………Matthew Melko

The Plot of John C. Plot's Philosophy…………Wallace Gray

Yone Noguchi and Joaquin Miller: Inspiration
through Mentoring ……………William B. Huntley

Global Ethics in Practice ……………Keisuke Kawakubo

English Summaries

Editors and Members of the Center

第七号 (二〇〇二年三月)

〈論文〉

「世界の科学史」——メソポタミアの文明と科学(Ⅰ)…………伊東俊太郎

「周辺文明」の変動的考察——アイヌ文明の場合…………神川 正彦

「幕藩制」と「天皇制」という二つの段階を中心に

パミールとスワットを結んだパキスタン北部地方(三)……土谷 遙子
ギルギット川流域の文化交流に果たした歴史的・
美術史的役割

〈シンポジウム〉

廣池千九郎と比較文明学……………川窪 啓資

メソアメリカとアジア文明——海の道はあったか？

1 アメリカ大陸の先史文明とトランスオセアニック・
コンタクト……………松本 亮三

2 メソアメリカ文明と旧大陸……………横山 玲子

3 スクー寺院とその半ピラミッド正殿について……………染谷 臣道

4 竜は太平洋を渡ったのか？……………服部 英二

マヤ文明とインドネシア

〈書評〉

石弘之・安田喜憲・湯浅越男著『環境と文明の世界史——
人類史二〇万年の興亡を環境史から学ぶ』…………川窪 啓資

日本海学推進協議会編『日本海学の新世紀』……………保坂 俊司

小田川方子著『生と知の根源』……………小林 道憲

川勝平太著『海洋連邦論——地球をガーデンアイ
ランドに』……………小林多加士

学会動向——第三〇回国際比較文明学会報告……………川窪 啓資

学会レポート……………山田 治

国連大学国際会議「文明間の対話」について

比較文明文化研究センター平成一三年度活動報告

編集後記……………川窪 啓資

編集委員および所員紹介

<Articles>

Dialogue of Civilizations..... Vigdis Finnbogadóttir
 Toynbee's View of Religion in a Multi-Religious
 World Keisuke Kawakubo
 Proust et le dialogue des cultures:
 Le cas du Japon..... Jérôme Cornette

English Summaries
 Editors and Members of the Center

第八号 (二〇〇三年三月)

<論文>

アルフレッド・クローバーの文明論再考..... 米山 俊直
 「世界の科学史」——メソポタミアの文明と科学 (II)..... 伊東俊太郎
 脳と心の科学技術倫理..... 立木 教夫
 聖樹をめぐる..... 欠端 實
 ハニ族の場合

<書評>

秀村欣二著『トインビー研究』..... 吉澤 五郎
 安田喜憲著『龍の文明・太陽の文明』..... 欠端 實
 小林道憲著『不安な時代、そして文明の衰退——
 われわれはどう生きるか』..... 保坂 俊司
 鬼頭宏著『文明としての江戸システム』..... 櫻井 良樹

伊東俊太郎著『文明と自然——対立から統合へ——』..... 立木 教夫
 学会動向——第三二回国際比較文明学会報告..... 服部 英二
 比較文明文化研究センター平成一四年度活動報告
 編集後記..... 川窪 啓資
 編集委員および所員紹介

<Articles>

Intercivilizational Encounters Matthew Melko
 Fatal Fetal Flaw of Middle Eastern Monotheism:
 Judaism, Christianity, Islam Walter Benesch
 & Joseph Thompson
 Food as a Driver of History:
 Globalization..... Laina Farhat-Holzman
 Sequence of Archaeological Discoveries in
 Baluchistan Makin Khan
 <Book Review>
 Eiji Hattori, *Letters from the Silk Roads: Thinking at
 the Crossroads of Civilization* Michael Palencia-Roth

English Summaries
 Editors and Members of the Center

第九号 (二〇〇四年三月)

〈論文〉

『オイクメネ』再考……………増田 義郎

媒体文明論……………小林 道憲

〈書評〉

川勝平太・安田喜憲著『敵をつくる文明、和をなす

文明』……………欠端 實

保坂俊司著『インド仏教はなぜ亡んだのか——

イスラム史料からの考察』……………奈良 修一

服部英二著『文明間の対話』……………立木 教夫

ローランド・ロバートソン著／阿部美哉訳

『グローバルゼーション——地球文化の社会理論』……………犬飼 孝夫

学会動向——第三二回国際比較文明学会報告……………川窪 啓資

比較文明文化研究センター平成一五年度活動報告

編集後記……………川窪 啓資

編集委員および所員紹介

〈Articles〉

Die the Dragon Cross the Pacific Ocean?

Mayan Civilization and Austronesia……………Eiji Hattori

(tr. by Oleg Benesch)

A “Civilizational Minimum” for Global Corporate Citizens?

—The Possibilities of the United Nations Global

Compact—……………Takao Inukai

St. Petersburg Viewed from Comparative

Civilizations……………Keisuke Kawakubo

English Summaries

Editors and Members of the Center

第十号 (二〇〇五年三月)

〈論文〉

「世界の科学史」——エジプトの文明と科学(I)……………伊東俊太郎

「アラベスク文様」とルネサンス芸術……………鶴岡 真弓

「司馬史観」の深化と比較文明学……………高橋誠一郎

『坂上の雲』から『菜の花の沖』へ

モンソン地帯の女性……………欠端 實

穀霊・祖霊と女性たち

脳のイメージング研究の進歩と倫理的対応……………立木 教夫

〈書評〉

松本健一著『砂の文明・石の文明・泥の文明』……………安田 喜憲

川勝平太著『美の文明』をつくる——

「力の文明」を超えて……………小林 道憲

中山理著『イギリス庭園の文化史——

夢の楽園と癒しの庭園』……………竹歳 誠

速水融・小嶋美代子共著『大正デモグラフィ』……………櫻井 良樹

サミュエル・ハンチントン著／鈴木主税訳

『分断されるアメリカーナショナル・アイデンティティの危機』……………犬飼 孝夫

学会動向——第三三回国際比較文明学会報告……………服部 英二

比較文明文化研究センター平成一六年度活動報告

『比較文明研究』既刊目録〈第一号—第九号〉

『比文研ニューズレター』既刊目録

編集後記……………川窪 啓資

編集委員および所員紹介

〈Articles〉

The Hegemon in World History……………Matthew Melko

A Memory and Life-Cycle of Civilization …… Andrew Targowski

A Quantitative Psychological Theory of

Civilizations …… Stephen Blaha

English Summaries

Contents of *JCS* No. 1 — No. 9

Editors and Members of the Center

第十一号 (二〇〇六年三月)

〈比較文明文化研究センター 開設一〇周年記念 国際シンポジウム〉
開催趣旨……………伊東俊太郎

ご挨拶……………廣池 幹堂

ご挨拶……………梅田 博之

プログラム／セッション概要／プロフィール

第1セッション

基調講演 「精神革命」の意義と課題……………伊東俊太郎

質疑・応答

第2セッション

発表 倫理の根底にあるものの発見——

イエスにおける精神革命……………八木 誠一

質疑・応答

第3セッション

発表 仏教——精神革命と現代(訳)……………デイボク・クマル・ボルワ

デイスカッサント 仏教——不完全性と

超越性(訳)……………ピーター・スキリング

質疑・応答

第4セッション

発表 精神革命としてのソクラテス哲学——

反駁的対話と無知の知……………岩田 靖夫

デイスカッサント ソクラテス哲学に精神革命を

見出すことは果たして可能なのだろうか……………和泉 ちえ

質疑・応答

第5セッション

発表 アラビアにおける精神革命と現代——

ムハンマドの場合……………竹下 政孝

デイスカッサント アラビアにおける精神革命と現代……………塩尻 和子

質疑・応答

第6セッション

発表 中国における「精神革命」と現代——

孔子を中心に……………加地 伸行

デイスカッサント 中国における「精神革命」と現代……………井出 元

質疑・応答

第7セッション

発表 日本における霊的生命観と現代……………蘭田 稔

デイスカッサント 大いなる生命の循環……………服部 英二

質疑・応答

第8セッション

総括シンポジウム 「精神革命」と現代

伊東俊太郎教授 略歴・業績

学会報告——第三四回国際比較文明学会報告……………川窪 啓資

比較文明文化研究センター平成一七年度活動報告

編集後記……………川窪 啓資

編集委員および所員紹介

〈International Symposium to Commemorate the 10th Anniversary of the Center for the Comparative Study of Civilizations and Cultures〉

Session 2

Discussant A Response to Professor Yagi's

Spiritual Revolution in Jesus……………Thierry Jean Robouam

Session 3

Lecture Buddhism: Its Spiritual Revolution and

the Present Day……………Dipak Kumar Barua

Discussant Buddhism: Imperfection and

Transcendence……………Peter Skilling

Session 8

Overall Symposium "Spiritual Revolution" and the Present Age

〈Commemorative Papers for Prof. Ito's Retirement〉

Oasis et les Routes de la soie……………Eiji Hattori

From Conflict to Peace:

The Way to the True Self in Kukai's and

European Mysticism……………Masako Odagawa

Politics by a Different Means:

Ancient Maya Warfare and Alliance Strategies……………Kerry Hull

Toward Common Wisdom……………Keisuke Kawakubo

English Summaries

Editors and Members of the Center

第十二号 (二〇〇七年三月)

〈論文〉

説話が運ばれた道……………欠端 實

——雲南から日本へ——

沖ノ島から文明を考える……………小林 道憲

レヴィー・ストロース最後の講演……………服部 英二
 日本神話と長江文明……………安田 喜憲
 学会動向——第三五回国際比較文明学会パリ大会報告……………川窪 啓資
 比較文明文化研究センター平成一八年度活動報告……………川窪 啓資
 編集後記……………川窪 啓資
 編集委員および所員紹介……………川窪 啓資

〈Articles〉

Water and Religion in Japan:
 Deities and the Power of Water……………Takao Inukai
 The Paths of Spiritual Transmission in case of
 Jesus Christ, Gautama Buddha, and Kukai …… Keisuke Kawakubo

English Summaries

Editors and Members of the Center

第十三号 (二〇〇八年三月)

〈論文〉

「精神革命」の時代(Ⅰ)……………伊東俊太郎
 ソクラテス・孔子・仏陀・イエスの比較研究……………染谷 臣道
 ジャワ心学の比較文明的考察……………安田 喜憲
 東アジアの肥沃な大三角地帯……………安田 喜憲

〈書評〉

米山俊直著『日本』とはなにか……………小林 道憲
 ——文明の時間と文化の時間——……………小田川方子
 吉澤五郎著『旅の比較文明学……………小田川方子
 ——地中海巡礼の風光——……………保坂 俊司
 塩尻和子著『イスラームを学ぼう……………保坂 俊司
 ——実りある宗教間対話のために——……………保坂 俊司

学会動向——第三六回国際比較文明学会モンテレー大会……………川窪 啓資
 報告……………川窪 啓資

比較文明文化研究センター平成一九年度活動報告……………川窪 啓資
 編集後記……………川窪 啓資
 編集委員および所員紹介……………川窪 啓資

〈Article〉

A Glimpse of China:
 Past, Present, and Future Viewed
 from a Comparative Study of Civilizations …… Keisuke Kawakubo

English Summaries

Editors and Members of the Center

第十四号 (二〇〇九年三月)

〈論文〉

人間、この拡大するもの……………	染谷 臣道
稲魂信仰としての天岩戸神話……………	欠端 實
——雲南省タイ族(傣族)の稲魂物語との比較——	
歴史と偶然……………	小林 道憲
複雑系から歴史を読む	
エデンの園の変貌……………	服部 英二
バビロンからヴェルサイユに至るチャール・バーグの旅	
妖怪伝承を活用した民俗的資源管理法の文明的考察……………	齋藤 之誉
東京都御蔵島の妖怪伝承を手がかりにして	
〈書評論文〉	
伊東俊太郎著『比較文明論Ⅰ・Ⅱ』	
〔伊東俊太郎著作集〕第七・八巻)……………	吉澤 五郎
回想と感謝……………	川窪 啓資
川窪啓資教授 略歴・業績	
学会動向——第三八回国際比較文明学会カナダ大会	
報告……………	川窪 啓資
比較文明文化研究センター平成二〇年度活動報告	
編集後記……………	立木 教夫
編集委員および所員紹介	

〈Articles〉

America: "An Enormous Laboratory" of Mankind……………	Keisuke Kawakubo
Watchtower and Kitawala in Central Africa ……	Norman C. Rothman
English Summaries	
Editors and Members of the Center	

第十五号 (二〇一〇年六月)

〈論文〉

アーノルド・トインビーの肖像……………	吉澤 五郎
——歴史学から比較文明学への道——	
トインビーの高等宗教と廣池千九郎の聖人研究……………	川窪 啓資
自立する文明にどう対処するか?……………	染谷 臣道
ポスト文明に向けて	
海洋の視点を再考する……………	松本亜沙子
〈研究ノート〉	
情報宇宙論覚書……………	小林 道憲
〈書評〉	
山下博司著『ヨーガの思想』……………	保坂 俊司
服部英二著『文明は虹の大河——服部英二文明論集』……………	岩澤 知子
比較文明文化研究センター平成二二年度活動報告	
編集後記……………	立木 教夫

編集委員および所員紹介

<Articles>

La Tour Eiffel est-elle une Pyramide?Eiji Hattori
—lien entre les patrimoines culturels—

English Summaries

Editors and Members of the Center

第十六号 (二〇一一年六月)

梅棹忠夫先生を偲ぶ.....安田 喜憲

<論文>

西欧のモラル・サイエンスの系譜から見た

モラロジーの破天荒性.....川窪 啓資

「隠された基壇」から見たポロブドゥール.....染谷 臣道

芸術・祝祭・文明.....小林 道憲

文明の精神.....安田 喜憲

明治の西洋動物学の黎明——木下熊雄.....松本亜沙子

<書評>

松本健一著『海岸線の歴史』.....齋藤 之誉

比較文明文化研究センター平成二二年度活動報告

編集後記.....立木 教夫

編集委員および所員紹介

<Article>

La Métamorphose du Jardin d'EdenEiji Hattori
Le voyage de 'Chahar bagh' de Babylone à Versailles

English Summaries

Editors and Members of the Center

第十七号 (二〇一二年六月)

<論文>

日本語とインドネシア語に見る「神の視点」と「虫の視点」を

併せもつ言語文化の大いなる可能性について.....染谷 臣道

ブータンの世紀の実験

「GNH(国民総幸福)による国づくり」の実態と今後...大橋 照枝

ラダックと比較して.....欠端 實

雲南省タイ族社会における自然崇拜と仏教.....欠端 實

——「寨心崇拜」と「穀霊信仰」の変容——

明治の西洋動物学の黎明Ⅱ——木下熊雄と.....松本亜沙子

そのグローバル性の背景.....松本亜沙子

<書評>

高橋紘氏の遺稿『人間 昭和天皇』の背景.....所 功

比較文明文化研究センター平成二三年度活動報告

編集後記.....立木 教夫

編集委員および所員紹介

〈International symposium, *In search of new global ethics*〉

The Natural Foundations of

Human Ethics (English digest) Augustin Berque

Rights, Obligations and Environmental Ethics:

Reflections from the West Michael Palencia-Roth

〈Articles〉

Appel à une nouvelle Ethique planétaire Eiji Hattori

Reviving the Spirit of the Xinhai Revolution Ken'ichi Matsumoto

Meta Analysis of the Study on

Indonesia–Japan Relationship Bambang Wibawarta

Case: The Study on Indonesia and Japan Relationship Conducted in

Various Universities and Research Institutions throughout

Jakarta and Surroundings Area

「日本文化論」を通して考える異文化理解の困難と

可能性 岩澤 知子

『菊と刀』と『アメリカの鏡・日本』の比較分析

〈Note〉

The Wheelchair As a Civilizational Metaphor Wallace Gray

English Summaries

Editors and Members of the Center

第十八号 (二〇一三年六月)

〈論文〉

中国における「精神革命」 伊東俊太郎

——孔子を中心として——

ボロブドゥールに環流思想を見る 染谷 臣道

稲魂文化 欠端 實

——モンソン稲作地帯の稲魂文化——

アメリカ文明とイスラエル 堀内 一史

ユダヤ・キリスト教の聖書解釈を手がかりに

「うたかたの恋」皇太子ルドルフのサンゴ 松本亜沙子

オーストリアハプスブルク帝国と海洋

独自に進化発達した国民皆保険制度に囚われた

我が国特有の医療文化に関する考察 南淵 明宏

〈書評・図書紹介〉

植村和秀著『日本のソフトパワー』 所 功

伊東俊太郎・染谷臣道編著『収奪文明から環流文明へ』 古川 範和

比較文明文化研究センター平成二四年度活動報告

編集後記 立木 教夫

編集委員および所員紹介

〈論文〉

プロメテウスの運命 服部 英二

三・一一と現代文明の危機

〈Article〉
 Le Destin de Prométhée Eiji Hattori
 ～ Le 11 mars et la crise des civilisations modernes ～
 English Summaries
 Editors and Members of the Center

〈書評・図書紹介〉
 加藤九祚著『シルクロードの古代都市——
 アムダリア遺跡の旅』..... 服部 英二
 Christopher Boehm, *Moral Origins:
 The Evolution of Virtue, Altruism, and Shame* 立木 教夫
 伊東俊太郎著『比較文明〈新装版〉』..... 冬月 律

第十九号 (二〇一四年六月)

〈講演論文〉

文化の起源・文明の起源..... 染谷 臣道
 山岳信仰の起源..... 安田 喜憲
 富士山世界遺産登録を記念して
 地中海文明の起源..... ムハメド・ハシヌ＝ファンタール
 ／通訳・翻訳、三浦 信孝
 サイエンス作家から見た「昨今の宇宙論あれこれ」..... 竹内 薫
 「科学革命」の起源 伊東俊太郎
 〈論文〉
 アジアの新嘗..... 欠端 實
 ——いのちの継承・聖化・再生——

比較文明文化研究センター平成二五年度活動報告
 編集後記..... 立木 教夫
 編集委員および所員紹介

〈Article〉

Aux Origines de la Civilisation
 en Méditerranée Mhamed Hassine Fantar
 English Summaries
 Editors and Members of the Center

第二十号 (二〇一五年六月)

〈講演論文〉

「グレート・ノルディック (Store Nordiske)」の
 海底電信ケーブルと日本のサンゴ..... 松本亜沙子
 〈シンポジウム〉
 女性は天皇になれるか..... 浅見 雅男・所 功・松本 健一

ルネサンスの起源..... 服部 英二
 「ガリア」と「ヒベルニア」..... 鶴岡 真弓
 ——ケルト文化とパトリオティズムの表象——

「ヨーロッパ」の起源……………	吉澤 五郎
——地中海巡礼の風光——	
文明の未来と日本……………	近藤 誠一
〈論文〉	
インドにおける「精神革命」……………	伊東俊太郎
——ゴータマ・ブツダを中心として——	
雲南の新嘗と日本の大嘗祭……………	欠端 實
現場医師から見た医療経済の本質的考察……………	南淵 明宏
明治の西洋動物学の黎明 Ⅲ——木下熊雄、伊倉補遺……………	松本亜沙子
比較文明文化研究センター平成二六年度活動報告	
編集後記……………	立木 教夫
編集委員および所員紹介	
〈Article〉	
The Language Identity of Uyghur in Japan I……………	Abdurexiti Abuduleifu
追悼 前比較文明文化研究センター長……………	松本亜沙子
松本健一の執筆活動について	
English Summaries	
和文要旨	
Editors and Members of the Center	

編集後記

『比較文明研究』第二十一号をお届けします。

今回も大変立派な研究紀要に仕上げる事が出来ました。講演論文三本、論文一本、書評論文一本を収録しています。

玉稿をご執筆賜りました先生方に篤く御礼を申し上げます。

*

本号では、前号の編集で投稿論文数が多く、編集費が高んだため収録できなかった論文二本と既刊目録とを収録することができました。出版の先送りを快くご了承くださいました、保坂俊司先生と染谷臣道先生には、あらめて感謝申し上げます。

第十九号から本号にかけて、統一テーマ「起源」に関する講演論文を特集してきました。比較文明学の多様な側面を、起源という視点から論じていただいた論文は十本になりました。本誌に収録しました既刊目録と本号の目次でご確認ください。

平成二十八年度からは、統一テーマを「文明の出会いと生成」とし、新たなスタートを切りました。

本号から、印刷所が、行人社から菅原印刷に変わりました。長い間、大変ご苦勞頂きました行人社さんに篤く御礼申し上げます。また本誌を仕上げていただきました菅原印刷さんも大変丁寧な仕事をして

くださいました。これからもよろしくお願い申し上げます。

本号は、麗澤大学比較文明文化研究センター創設二十周年記念として、既刊目録を入れて編集致しました。『比較文明研究』は、これからも内容豊かな論文を収録し、世界に情報発信していくつもりです。ご支援とご協力をお願い申し上げます。

（『比較文明研究』編集長 立木教夫）

『比較文明研究』第二十一号編集委員

編集長 立木 教夫

副編集長 犬飼 孝夫

編集委員 堀内 一史

比較文明文化研究センター構成員

センター長 立木 教夫 (麗澤大学特任教授)

副センター長 犬飼 孝夫 (麗澤大学教授)

客員教授 伊東俊太郎 (麗澤大学名誉教授、東京大学名誉教授)

大澤 真幸 (社会学者)

欠端 實 (麗澤大学名誉教授)

川勝 平太 (静岡県知事)

川窪 啓資 (麗澤大学名誉教授)

木曾 功 (前・国連教育科学文化機関(ユネスコ)日本政府代表部特命全権大使)

ギヤビン・バントック (明德義塾英語劇演出家、元・麗澤大学教授)

近藤 誠一 (近藤文化・外交研究所代表、外務省参与(国連安保理非常任理事国選挙担当大使))

染谷 臣道 (静岡大学名誉教授)

所 功 (京都産業大学名誉教授、(公財)モラロジー研究所道徳科学研究センター研究主幹(教授))

南淵 明宏 (医療法人社団冠心会大崎病院東京ハートセンター長)

服部 英二 (公益財団法人モラロジー研究所研究センター顧問)

保坂 俊司 (中央大学総合政策学部教授)

松本亜沙子 (千葉工業大学惑星探査研究センター研究員)

松本 亮三 (東海大学観光学部長・観光学科教授)

安田 喜憲 (東北大学大学院環境科学研究科教授、国際日本文化研究センター名誉教授)

吉澤 五郎 (トインビー・地球市民の会特別顧問、比較文明学会名誉理事)

岩澤 知子 (麗澤大学教授)

黒須 里美 (麗澤大学教授)

齋藤 之誉 (麗澤大学准教授)

竹内 啓二 (麗澤大学教授)

研究員

齋藤 之誉 (麗澤大学准教授)

研究協力者
客員研究員

- ピーター・ラフ (麗澤大学教授)
堀内 一史 (麗澤大学教授)
宮下 和大 (麗澤大学助教)
竹中 信介 (公財)モラロジー研究所道徳科学研究センター人間学研究室研究助手
汪 義翔 (東京理科大学専任講師、麗澤大学外国語学部非常勤講師)
冬月 律 (公財)モラロジー研究所道徳科学研究センター社会科学研究室研究員、
外国語学部非常勤講師)
アブドゥラシイティ・アブドゥラティフ (公財)モラロジー研究所道徳科学研究セ
ンター社会科学研究室研究員)
(五十音順)